



### 「金田町交通安全推進大会」開催される

去る九月二十一日(水)金田町民会館において、金田町交通安全連絡協議会主催の「金田町交通安全推進大会」が盛大に開催された。

この大会は、秋の全国交通安全旬間の一環として、金田町では初めて催された。

会場内には、金田小・中学校生徒の交通安全ポスターが掲示され、特に優秀な作品には、町長、議長、交通安全協会会長より、表彰状と記念品が授与された。

また大会スローガンとして「青少年運転者の無謀運転を防止しよう」等五件を採択し、交通安全の普及に努めた。

今回特別にアトラクションとして、金田保育園園児による鼓笛隊の演奏と、お母さんコースによる合唱で大会に華を添えていた。

当日は天候に恵まれ、田川地区消防音楽隊を先頭に参加者全員と小学一・二年生による町内パレードを行ない、通行人やドライバーに交通安全を呼びかけました。

### 金田小学校にも美りの秋が!!

金田小学校の裏の「実習田」も美りの秋をむかえ刈り取りを待つばかりとなった。

「実習田」は児童たちから、勤労体験学習をさせるために学校と永末PTA会長が企画し、会長が田(一、四反)の借り入れから苗の世話まで行ってきた。

その間、職員会議、PTA委員総会などで具体的な取り組みを話し合うなかで、

「今の子ども達は、足の裏に泥を付けることがなくなってきた。また、通学路沿いの水田でいたずらをする児童もいて農家の苦情も多くなっている。自分達が稲を育てることで物や生命の大切さ、農家の苦勞を自然に身につけることが出来る」など、勤労学習を通して以上の様なことが培われるのではなからうかという結論に到達した。

今日までの主な経過として、

○六月十一日 校長が全校児童に米作

### 厚生年金・国民年金 積立金の融資を受けて

金田町簡易水道施設整備工事は、昭和六十一年度から昭和六十二年(一部六十三年度完成)の二か年継続事業として二五三、九〇〇千円の年金積立金還元融資を受け、神崎地区内に施工されました。

この工事は、恒久的な公衆衛生の向上及び生活環境の改善を図ることを目的に実施されましたが此の度の完成により、水質悪化が解消され、地域住民に十分な給水が可能となりました。

尚、工事費については左記のとおりです。

総工費 七九三、七五九千円  
(財源内訳)  
○国庫補助金 三九六、一七二千円  
○県費補助金 一三三、〇〇〇千円  
○簡易水道事業債 二五三、九〇〇千円  
○一般会計繰入金 九、九八九千円  
(消火栓等)  
○一般財源 六九八千円

### 財政課

ろうか、また、毎月校舎から実習田の色づく様子を周田の田んぼと見比べながら刈り取り(十一月二日予定)や収穫祭(全員で餅搗き)の日のことを今から楽しみにしているようだ。

### テーマは「女と男」昭和六十三年度婦人問題についての作品募集

作品	対象者	テーマ
論 文	高校生 一般	女と男の新しいあり方
作 文	小学生 中学生	わたしたちの男女平等
ポ ス タ ー	小学生 中学生 高等学校	わたしたちの男女平等
標 語	小中高一	わたしたちの男女平等

○応募資格 福岡県に居住する人に限ります。

○応募締め切り 昭和六十三年十一月三十日(水)

○その他 入賞作品及び応募作品の著作権は福岡県に帰属します。

応募作品はお返しいたしません。

応募者全員に記念品があります。

応募先及び問い合わせ先 福岡市博多区東公園七番七号 福岡県企画振興部県民生活局 婦人対策課 電話 〇九二六四一四七三七 六五一一一一 (内線)二八九一



### 人権は みんなの力で 守るもの

### 金田中一年 古屋水愛

### 十一月短歌詠草

公民館短歌教室

講師 友清 隆雄  
喜寿過ぎし恩師の写真届きたりかく老いたしと妻と言ひ合ふ

阿部 重宏  
台風のごとく来りて去りし子がまた来年もと電話かけきぬ

三村 和子  
サルビアの咲く家コスモスゆれる路竹田のまちは花いっぱい街

渡辺 勝由  
古稀なれど展げゆく世の歯車にかみあわせむと講壇分ありて聲の出でくる

井手元智恵子  
さくさくと落ち葉踏みつつ山あいを歩く一人のひとときが好き

福田 昌  
つぎつぎと計報届きし夏の日に逝きし人想ひて雑草を刈る

田村キヌエ  
盆鮎を包丁の峰でたたくつ亡き母のしぐさふと蘇る

佐竹喜久雄  
千拓の五十年経て今もなほ塩分ありて聲の出でくる

千手佐起子  
嫁ぎゆく子の姿見て心充つ幾度か不幸のつづきたる後草の道で車窓につきしかまきりの小さき羽根のひたすらな翠

岡野富司生  
山口 俊子  
機上より大地に蛇行する黄河見て北京に近きを中国人の言ふ

田村 武夫  
吹く風は常の風とは変らねどなにとはなしに悲しきさそふ

小野とめ子  
キリギリスしばらくやすめ鳴く声でねむりについた夫をおこすな

田代 総  
真剣に進路を語り訴へる生徒の姿は少年ならず

植木 武文  
友のくれし小さき小さき梅干の赤く光りてわが目のたし

福原 照子  
ことあれば己も忘れ立ち向ひ気おくれもせず老いたる母は

並川 君子  
木犀の甘き香りの流れきて登校の子らの明るき声す



### 親子のふれあい探訪を 実施します

子どもがみんな明日の大人になります。今日の大人はきのうの子どもでもあったのに、話し合えない、話せばケンカといった親子が増えています。こうした中で話し合いをしっかり家庭に根づかせるため、金田町内の史蹟を親子で訪ねて、歴史や伝説の話聞き、共通の話題で語り合ふれあい心を通わせ、ふれあい探訪を実施いたします。

金田町青少年育成町民会議健全育成部会 加しましょう。

期日 昭和六十三年十二月四日(日)、雨天の場合スライドで講話

時間 午前九時より十二時

場所 午前九時より十二時

講師 阿部重宏 福田 昌

集合場所 金田町総合会館

探訪先 松崎神社・清石山 碧巖寺・稲荷神社・四郎丸貴船社

服装 軽快な服装、運動靴

持ち品 タオル、水筒、筆記具

資料 当日説明資料を配布

○療養相談 12月7日 ○リウマチの症状と検査 ○リウマチ(温熱療法ほか) ○療養相談 1月11日 ○リウマチ患者のつどい 2月1日 ○リウマチの診断と治療 ○栄養と食事

○療養相談 3月1日 ○リウマチと社会福祉制度 4月5日 ○日常生活の注意と工夫 ○懇談会時間 午後1時30分〜3時まで 場所及び連絡先 福岡県立嘉穂病院 電話 0948-2213740



お母さんコース 第2回 コールかなだ 定期演奏会

1 スクリーンミュージック

2 童謡

3 混声

11月19日 金田町総合会館 日(土)PM6時半開演

主催 コールかなだ 後援 金田町教育委員会

自動車事故被害者に 国がさしのべる援護の手

自動車事故対策センターは、昭和48年7月国が設置した運輸省所管の政府出資法人で自動車による被害者及び家族に次の援護業務を行っています。

一、対象者 自動車事故により死亡または重度の後遺障害が残った者の子弟(0才から中学校を卒業までの幼児童)で、その保護者が住民税を納めていない等の一定の要件に合致するもの

二、貸付け金額 当初の一時金 一三三、〇〇〇円 貸付け期間中の月額 一六、〇〇〇円 入学支度金 三六、〇〇〇円

三、貸付け期間 貸付け決定の時から中学校を卒業する時まで

四、利子 無利子

五、返還方法 貸付け終了後六ヶ月を経過した後二十年の均等分割返還(高校、大学へ進学したときは卒業まで猶予)

重度後遺障害者に対する「介護料の支給」のご案内

一、対象者 自動車事故で脳損傷、脊髄損傷を生じた方で一定の基準に合致する者

二、支給額 入院は一日につき 三、八〇〇円 自宅は一日につき 一、九〇〇円

◆問い合わせ先 福岡市博多区博多駅東三丁目十一十七陸運会館ビル三階 自動車事故対策センター 福岡主管支所業務課 電話 092-4517751

金 田 町 史

第五篇 現代

第一章 現代の概観

終戦直後の占領政策は、日本の軍国主義的傾向を一掃することに重点をおき、政治、経済、社会その他各方面に於いて旧体制を破砕し、民主主義を育成することを目的とした。

に国際情勢は激変して、米ソ二大陣容の対立が次第に明らかになってくるに従って、占領政策は転換して先ず第一着手として食糧放出によって社会不安を解消することに努め、日本を早期に自立させる策をとるに至った。

たまたま朝鮮動乱が昭和二十五年六月二十五日勃発した。この動乱に伴って日米経済協力が進められ、日本経済は一時的活況を呈し産業界は活況に向い石炭の需要も急増して、昭和二十六年には炭価上昇し動乱ブームを謳歌する時代となった。昭和二十七年四月、動乱ブームの反動と輸出貿易は諸外国の競争力に脅かされはじめた。外国炭の輸入増加と重油転換が急速に進

すなわち軍隊の解散、戦犯容疑者の逮捕、特高警察の廃止、軍国主義者の公職追放、財閥の解体、労働組合の育成、農地制度の改革教育制度の変革、新憲法の制定等が矢継ぎ早に行なわれ廢墟と、虚脱の中に残された日本経済を復興させることは当初は総司令部の任務とは考えられていなかった国民は秩序を失い食糧危機とインフレに悩まされた。ところが二年足らずの間

められるに至り、重油は石炭市場を侵蝕して石炭の大きな脅威となった。二十八年、政府は炭坑の合理化を重要施策として押し進め、郷土の炭坑も休廃止の運命を辿っていった。昭和二十九年には政府のデフレ政策によって業界不況、炭価暴落は炭坑の休廃止に拍車をかけた。こうして失業者が続出するに至った。炭坑町として繁栄した郷土は一転して暗い谷間にあえぐ町となり、その体質改善に懸命の努力を余儀なくされた。太平洋戦争に敗れて復興に立ちあがらんとする私たちの町は再び冷徹な燃料革命の嵐の前に立たされた。一致協力してよりよい郷土の建設に立ちあがらなければならぬ。本町の役場庁舎や中央公民館も新築された。これを機会に何より広い気持をもち、教養への研鑽を重ね常に広い視点に立って勇往邁進しよう。そこに必ず大路が開ける。(以下次号)

昭和64年度 「福岡県青年の船」

団員募集

- 1、実施時間 昭和64年5月19日から5月30日まで
- 2、訪問国(都市) 中華人民共和国(天津市・北京市) 大韓民国(仁川市・ソウル市・水原市)

- 3、募集人員 一般団員 300人
- 4、年齢 18歳以上 35歳以下
- 5、負担金 9万円(班長は免除)
- 6、募集期間 昭和63年11月25日から昭和64年1月24日まで
- 7、応募用紙の配付 教育委員会社会教育課
- 8、問い合わせ先 青年生活局

福岡県企画振興部 県民生活局 青少年対策課 電話641-4740

昭和63年度 個人事業税第二期の納付についてのお知らせ

昭和62年度個人事業税第二期の納期限は11月30日となっております。納期限までに納めていたいただきますよう御協力をお願いします。

福岡県田川財務事務所 電話(〇九四七) 四四一八一一番代

右の方より会社創立十周年記念事業として左記の物を中央公民館に寄贈して戴きました。厚く御礼申し上げます。

お 礼

一、日時 昭和63年11月20日 12時より

一、場所 金田町総合会館

有限会社大和建設 社長 安方 一夫 殿

芸術発表会の お知らせ!!

本年も同和教育の一環として

記 カワイピアノ 一台 金田町教育委員会

文化の日

11月3日は文化の日。

昭和21年のこの日に新憲法が公布され、日本が戦争放棄宣言をしたのを記念して平和への意思を基礎とした文化をすすめるために制定された国民の祝日です。

この日は昔の明治節と同じ日なので、ご年配の方の中には、明治時代に文明開化が始まったのになんだ日と思っている方もいるようです。

文化の日を中心に、文化勲章の授与式、芸術祭、国民体育大会などが行われるほか、各地でさまざまな行事が催されます。

ところで、文化とは何かと聞かれるとむずかしいのですが、この言葉はなんとなく快い響きをもっているのか、かつて、わたしたちの身の廻りには文化住宅、文化包丁、文化鍋など、文化という言葉がはらんしたことがあります。

そして、最近では第三の文化時代ともいわれています。まず明治維新の文明開化、次に戦後の文化国家建設、そして、いまは経済優先から文化優先の時代へ、というわけです。

それにしても、ゆとりがなくて文化どころではありません。

11月は「ゆとり創造月間」です。

昭和60年10月15日の経済対策閣僚会議で、内需拡大に関する対策として週休二日制普及のために、11月を「ゆとり創造月間」とすることが決められました。



以上の方より香典返しとして、ご寄付いただきました、社会福祉事業のために有意義に使用させていただきます。 金田町社会福祉協議会 会長 藤川 義臣

ありがとうございます ございました

福岡県高齢者 総合相談センター 福岡県シルバー 110番 電話(092)761-6161

